

「慰安婦問題」

㊦ 解決に距離

72% 平壤放送が論評

【朝鮮通信社東京】六日の平壤放送は、河野官房長官が四日に行った従軍慰安婦問題に関する談話に対し「謝罪の意を表明したものの、問題の解決にはあまりにも距離が隔たっている」と論評した。

放送は、従軍慰安婦問題の解決のために①犯罪の真相を全面的に公開し、謝罪した上で責任者に対する刑事処罰をする②被害者の名誉と破壊された国際正義を回復するために罪滅ぼしの意思を物質的に表明すべきだ——と主張した。